

朱雀の庭・いのちの森 利用のご案内

- 開園時間：午前9時～午後5時
ただし、入園は午後4時30分まで
- 休園日：毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）
と年末年始（12月28日～1月4日）
- 入園料：1人 200円

●朱雀の庭（すざくのにわ）

この庭園は、長年にわたって培ってきた京都の作庭技術・技法の粋を結集し、平成の時代にふさわしい空間づくり、伝統と創生の調和をめざした池泉廻遊式庭園です。池の周囲には築山や滝、野筋（のすじ）や花床などが配置され、歩みにつれて変化する景は、訪れるたびに新鮮な発見に満ちています。現代の生活様式にマッチする新しい試みを随所に取り入れたこの庭園は平安建都1200年を記念し、平成の様式美を表現した新しい市民の憩いの場として親しまれています。

●いのちの森

チョウ、トンボ、セミ、小鳥等が公園や周辺の自然と一体となり、生命が生まれ、育つことができるような多様な植生と自然な環境を創り出し、都心の「野生の聖域（ビオトープ）」として整備された区域です。

●緑の館

「庭園の上部に屋根をかけた空間」をイメージしてつくられた緑の館。和風を基調にして、緑や水の流れなど、自然をとり込んだ空間は、人間と自然との共存の姿を感じさせてくれます。

1階には、レストランと展示会等にも利用できるイベント室。2階には、和室と茶室（2室）があり、茶会や会合等にもご利用いただけます。

公園施設の案内

★緑の館

定休日：朱雀の庭・いのちの森と同じ

利用料	区 分	午前（9時～12時）	午後（13時～17時）	夜間（18時～21時）
	和室（28畳）	6,500円	9,000円	
	茶室1（4畳半）	2,000円	3,000円	
	茶室2（8畳）	3,000円	4,000円	
	イベント室	9,000円	10,000円	12,000円

★レストラン「ん」

緑の館1階にあり、庭園に抱かれたレストラン。

営業時間：11時～22時 定休日：朱雀の庭・いのちの森と同じ

★チンチン電車

明治28年から京都の町を走り、市民に愛されていたチンチン電車が公園内を走行しています。

営業日：土、日曜日と祝日（12月28日～1月4日は休み）

時 間：10時～16時 乗車料：1人300円

★駐車場

24時間利用できる有料の駐車場。

料 金：普通車2時間まで700円その後、1時間ごとに200円
加算、大型車1日1回2,500円

★みどりの相談所

最近流行のガーデニングを初め、花や緑に関するいろいろな疑問に親切にお答えします。また、電話による相談にも応じています。

相談日：毎週水、金、日曜日 10時～12時、13時～16時
（12月28日～1月4日は休み）

電話番号：075-352-2518



★交通機関

・京都駅から 徒歩約15分

・市バス
京都駅前
【33、205、208系統】
→梅小路公園前

又は
【206系統】→七条大宮

七条京阪前
【206系統】→七条大宮
【208系統】→七条大宮
又は梅小路公園前

四条大宮
【18、71、206、207】
→七条大宮

問い合わせ先



(財)京都市都市緑化協会

〒600-8248 京都市下京区上中之町1-3

TEL.075-352-2500 FAX.075-352-2226

梅小路公園

朱雀の庭 いのちの森



●水鏡 (みずかがみ)

かつて貴族たちは池泉で舟遊びに興じ、月を愛でていました。

朱雀の庭の池はインド産の黒御影石の上に1 cmだけの水を張り、池全体を水鏡にするという斬新な手法が採り入れられました。昼は周囲の景色を、夜は月やかがり火を水面に映します。

●紅葉溪（もみじだに）

京都近郊で産出した山石を組んだ中に、杉林や紅葉、水流を配し、洛外の自然の景を都心に再現する構成としています。2階入口から続く夕月橋から俯瞰で眺めることができます。湧き出る水流は小滝となって落ち、一方は建物内部へもう一方は栈敷脇を流れていきます。

●野筋 (のすじ)

滝の上部からもうひとつの小さな流れが始まり、野
芝でつくった緩やかな起伏のなかを流れ、広い原野
(ここでは池)へ流れ出します。これは平安時代か
ら続く技法で造られています。この野筋にナデシコ
などの季節の草花を植えて愛でるのが平安の昔の花
見でありました。



緑の館



通路